

町議戦活氣を帯ぶ

阿部唯次郎氏 立候補断念

昨夜親戚總會で 出馬の野心勃々たるものあり投票日の際になつて名乗りを擧げると傳へられた四丁目阿部唯次郎氏は昨夜親戚會議の結果周囲の事情に鑑み此際出馬を見合すべし旨の勸告多く遂に立候補断念せる由

猪狩氏奮起

意を決して 四丁目の猪狩庄平氏は徹頭徹尾辞退した爲め候補難に陥つた同町有志は協議の未本人の起否如何に拘らず擁立する事なり理想選挙を標榜して同氏の當選を期する事となり文書戦を開始したのであるが畢竟に至つては周囲のみ心配を掛けて知らぬ振りの出来ぬ立場となり遂に猪狩氏は意を決して奮起する事となつた

大平町に盡す 齋藤氏挨拶

田町齋藤敏實氏は左記立候補の挨拶状を配布した 不順の折柄皆様には御變もありませんか私は日頃御愛顧を蒙る居る三三三屋であります、今回町會改選に當りまして有権者皆様の御薦に依り不肖の身を以て立候補致しまして

た幸に皆様の御同情を賜はり當選の榮を得ば大平町の爲めに出来得る限りの力を盡したいと思ひます何卒貴下の清き御一票に依り當選する様に御願ひ致します 年長者三氏 何れも同年 順序は月順 今回の候補者中最年長者は青沼鋒太郎、井上茂作、加納五郎の三氏で共に慶應三年生れの六十三歳であるが若し三氏が同點の場合には生れた月順に依る事となり井上、加納、青沼の順序である

大森、千葉の 兩氏後援に 縣人会起つ

播磨小路千葉彦治南町大森勇の兩氏は共に宮城縣人であつて町議壇上の闘士として渴望されて居るが形勢は樂觀を許されないので宮城縣人会の擁立派達は挽回策を鳩首議議中にて近く論陣を張るの豫定である

遠藤候補 應援演説會

廿七日性源寺 長橋町の候補者遠藤林松氏の爲め同町有志が廿七日午後七時より性源寺に於て應援演説會を開く由にて遠藤氏も同夜立候補の挨拶を爲す由

苗代麥桑を害され 農作物は半減見込

早くも稚蚕を捨てたもあり 石城地方損害莫大 損害豫想殆んど不明な洪水 災厄に襲はれた農作物に就き石城郡農會では急遽各町村に係員出張被害調査中であるが

山間部

地方の一小範圍を除く外河川に近い耕地は總て濁流に洗禮をうけ苗代は土砂に埋没され大小麥類は莖幹をへし折られ桑園は泥土のために給桑不能の状態に全く被害面積目下の處見込が立たぬ

洪水の被害 国道橋梁流失

平土木監督所管内に於ける 土木工事被害左の如し 石城郡神谷村中神谷国道鳥沼橋流失、双葉郡久ノ

ポスター式 葉書を飛ばす

高橋氏後援者 小學卒業兒童の 六分一は就職希望

平職業紹介所では四年三月末日現在を以て石城、相馬双葉の濱三郡各小學校兒童男六千八百七十五人女五千五百七十八人合計一萬二千四百五十三人の就職希望のもの 何人ある かそれにより少年職業指導方針を計畫すべく小學校卒業兒童の希望を調査した、石城郡には卒業兒童男三千六百十六人女三千二百二十二人の内就職希望のもの男四百九十八人女二百二十七人家庭にとまらぬもの男九百七十七人女千七百七十八人上級學校入學希望男二千四百四十九人女千九百二十三人双葉郡では十二人女千二百五十五人の内就職希望のもの男百十四人女十八人家庭に歩まらぬもの男



家庭知識

新聞紙はいろいろに利用されて着類その他のものを包むと虫よけの効果があるが

は同氏が危地に在るものと爲し寫真入り二色刷のポスター式葉書を八方に飛ばして後援を求め相當の効果を奏して居る 入學希望のもの男千七百七十五人女七百二十七人これを三郡合算すれば卒業兒童數六千七百七十八人の内就職希望のもの男九百三十三人女八百八十八人家庭に留まるもの男千九百八十八人女千九百五十三人 上級學校 に入學希望のもの男四千三十四人女三千三百七十七人にして就職希望のもの男女合せて千二百一十一人であるが年々増加する傾向であるので少年職業紹介とその指導の必要を如實に物語つてゐる

謹告

昨日平地方出水に際し本社工場も浸水の厄に遭遇休刊の己むなきに至り候處早速後始末を了し作業狀態復舊仕候間御安神被下度此段御詫旁々謹告候也 五月廿五日 常磐毎日新聞社

謝出水御見舞

川崎 文治 平町長橋町三五

薰風の旅

平商修學旅行團 (第一信) 五月十九日、未だ黎明の爽やかな空氣の漲つて居る五時十五分の汽車にて、我等七十の平商健兒旅行團は武川、服部兩先生に引率せられ、關西方面へ修學旅行に旅立ちました。我等の鹿島立ちを見送つて下さつた吉田校長先生を始め、諸先生や、校友諸君へ厚く感謝の意を表しながら、發車の合圖の汽笛を聞き

大掃除の時期にあつては、いちはん大事なのは床下の清掃と排水路の急流と同時の疊の乾燥といふことであるが、特に雨期に向ふ現在としては室内の濕氣を除けるといふことは充分に注意しなければならぬことである、だから疊を乾かすのはよくよく、日をみて充分

ました時、いそ／＼として居た我等の心は遂にたまらなくなつて、何を形容したら良いかわからぬ歡喜を感じたのでした。遂に汽車は校友諸君の萬歳の聲に送られて、歩道を離れ始めました。我等の生涯の歴史の最も面白い愉快なる頁がめぐらされ始めるのでした。そして我等の空想が實現されて行くのでした。汽車は晩春初夏の自然の風物の中を突進して行きました。南へ南へ南へ。やがて十時五十分上野驛に着きました。我等はこれより上野動物園を見物し、直ぐに四台のバスに分乗して宮城、明治神宮、靖國神社を参拜し、有名なビルディングや名所舊蹟公園を見物し、雷門より地下鐵にて上野へ戻り静玉

募集

文藝其他投稿を募集します 文藝其他投稿を募集します 文藝其他投稿を募集します